

ビジネス成果はブランド設計から

# 目的を叶える デザインの指南書

「いい商品なのに、  
サービスなのに、伝わらない」

そんな時、こんなふうに思っていないですか？

“デザイン(見せ方)を綺麗に  
整えれば伝わる！”

しかし、実は...

「デザインを整えれば、成果は出る」  
は誤解です。

**“何を伝えるか”を整理しないまま、  
デザイン制作に進むと  
必ず失敗します。**

この資料は  
「成果が出せるデザイン」  
を順を追って解説しています。

# 一見バラバラに見える、これらの悩み。

Webサイトを作ったが反応がない

サービスには自信あるが選ばれない

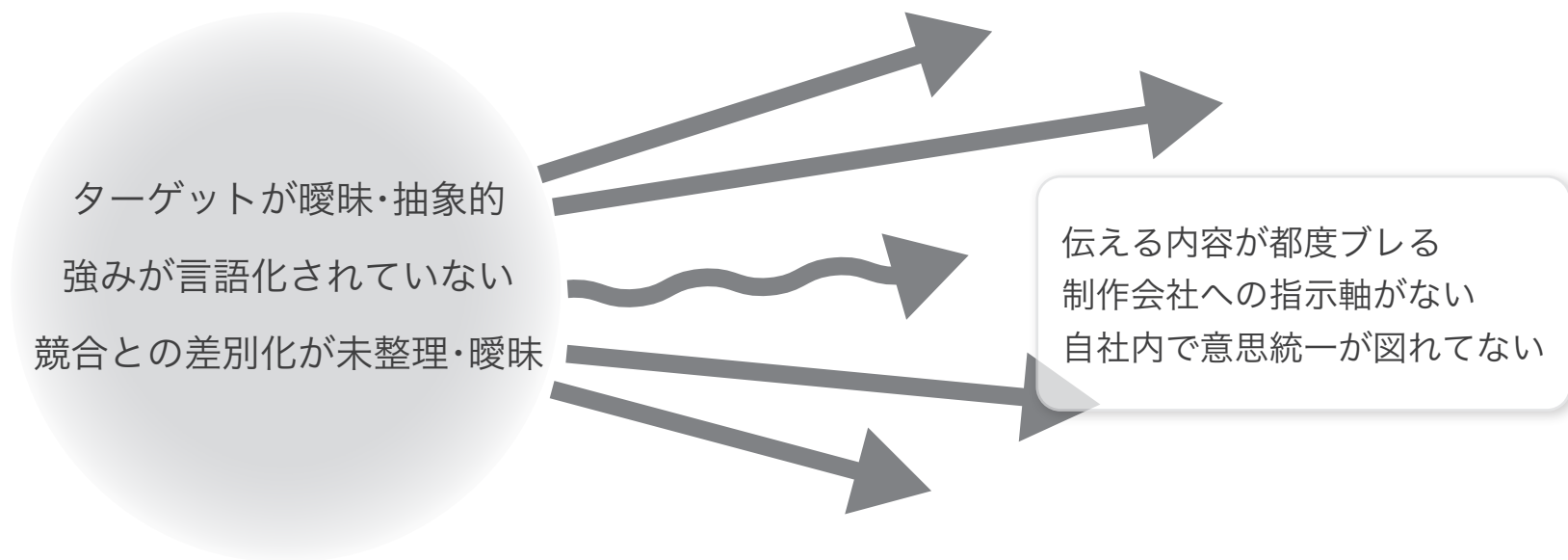
営業資料を作ったが響いていない

LPを改善しても成果が変わらない

価格競争から抜け出せない

実はすべて、共通した「水面下の原因」があります。

# 制作現場で起きる「ブレ」



この状態では何を強調すべきか分からず、  
結果として“誰の印象にも残らないデザイン”になります。

# 問題の本質は「設計されていないこと」



Creative / Design

誰に  
(Target)

何を  
(Target)

なぜ  
(Target)

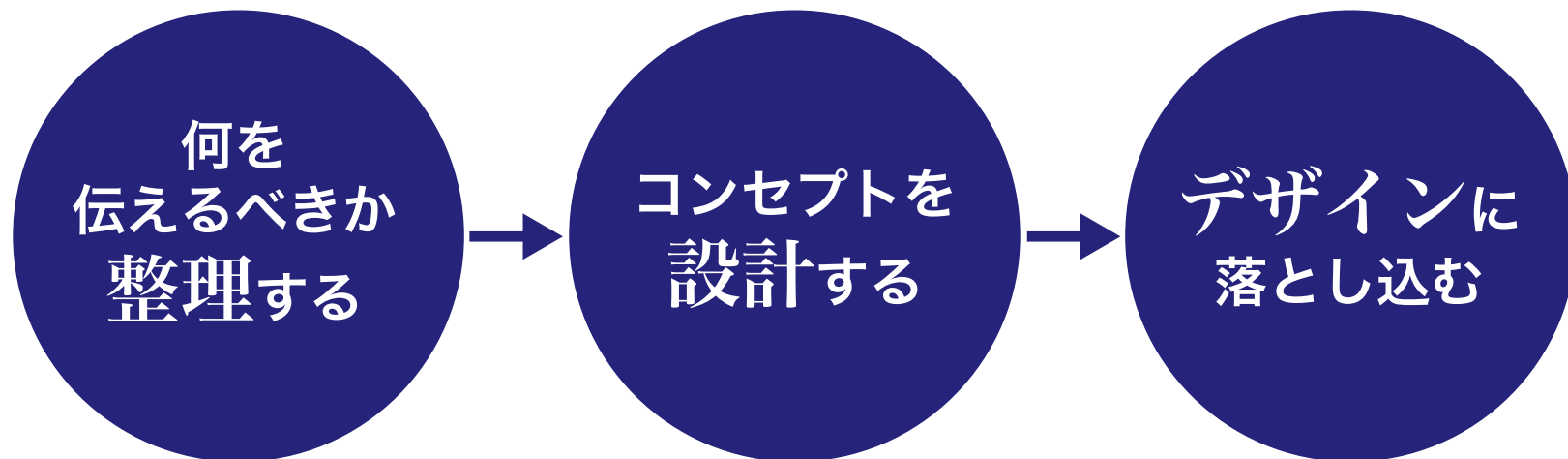
どう  
伝えるか  
(Target)

デザインはあくまで「伝える手段」

この4つが整理されていない状態でデザインを行うと、

表面的には整っていても“伝わらない”デザインになります。

# 重要なのは「順番」



この順番を進めることで初めて、“伝わるデザイン”が生まれます。

# 「設計フェーズ」で行う5つのこと



これらを言語化し、全てのクリエイティブの“ブレない軸”を作り出します。

# 設計はデザインを超えて「経営」に効く。

事業コア

社内の認識が一つに揃う

クリエイティブの意思決定が速くなる

商品のクオリティが上がる

事業の生産性が向上する

社員全員が説明できるようになる

顧客に価値がストレートに伝わる

価格競争から脱却できる

価値で  
選ばれる

# 「まずは作ってみてから考える」の罠。

## いきなり制作に入る

方向性が都度ブレる

修正回数が激増する

結果的にコストと時間の増加

## 設計してから制作に入る

判断の軸が明確になる

迷いのないスムーズな進行

最小限の修正、最大化する成果

# 「何を作るか」ではなく、 「何を伝えるべきか」を 設計する。

HS広告スタジオは、デザイン制作とコンセプト設計、  
集客し続ける仕組み設計を“同時に”行えるデザイン事務所です。  
だからこそ、いきなり制作に入ることはありません。

# ズレのないプロジェクトを実現する 5つのステップ

最初に設計を行い、その結果として最適なクリエイティブをご提案します。

1

ヒアリング・現状把握

2

設計(言語化・コンセプト)

3

方向性の共有

4

クリエイティブ(デザイン制作)

5

運用・改善

「設計から  
ご一緒できる場合のみ」  
ご相談・ご依頼をお受けしています。

成果に繋がらない表面的な制作が、私たちにも“貴社にも”いい影響を及ぼさないからです。

# ご相談いただきたいケース

下記が当てはまる場合は、ぜひご相談ください。

設計から一緒に見直し、プロジェクトが前進する可能性大です。

- 何が自社の本当の強みか説明しきれない
- 競合との違いが曖昧になっている
- 営業担当によって伝え方が属人化している
- 見せ方(デザイン)を変えても、成果に繋がっていない
- ブランド全体の統一感を整えたい

# Next Step

まずは「現状の整理」からお気軽にご相談ください。  
下記のことからサポートいたします。

課題の  
言語化

方向性  
の整理

進め方の  
ご提案

HS 広告スタジオ™

Webサイト | <https://www.hscreativestudio.com>

E-mail | [saygo@hscreativestudio.com](mailto:saygo@hscreativestudio.com)

HS 広告スタジオ™